

はじめに

# Disk Refresher 3

ディスクリフレッシャー3

## 取扱説明書

インストールして使う

CD-ROMやフロッピーディスクから  
起動して使う(ハードディスクのみ)

ふろく

# もくじ

## 【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。  
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
  - 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
  - 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。  
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
  - 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。  
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
  - 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
  - Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
  - Zip® は Iomega Corporation の登録商標です。
  - Super Disk はイメージーション社の登録商標です。
  - 本製品には、GNU General Public License Version 2, June 1991 に基づいたソフトウェアを使用しております。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、およびその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。  
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
  - その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために・・・・・・・・・・2ページ

## はじめに・・・・・・・・・・5ページ

- DiskRefresher 3 とは？・・・・・・・・・・6ページ
- 箱の中には・・・・・・・・・・7ページ
- 動作環境・・・・・・・・・・8ページ
- 使用上の注意・・・・・・・・・・9ページ
- 使い方のいろいろ・・・・・・・・・・10ページ
  - 使い方のいろいろ・・・・・・・・・・10ページ
  - 対応データ消去方式・・・・・・・・・・10ページ

## インストールして使う・・・・・・・・・・11ページ

- インストールしよう・・・・・・・・・・12ページ
- データを完全消去する・・・・・・・・・・14ページ
- 使い方のいろいろ・・・・・・・・・・22ページ
  - ハードディスクをフォーマットする・・・・・・・・・・23ページ
  - リムーバブルメディアをフォーマットする・・・・・・・・・・29ページ
  - 物理フォーマットする  
(MO、DVD-RAM、SCSIハードディスクのみ)・・・・・・・・・・33ページ
  - データを復元する(リムーバブルメディアのみ)・・・・・・・・・・35ページ

## CD-ROM やフロッピーディスクから起動して使う (ハードディスクのみ)・・・・・・・・・・39ページ

- 消去用フロッピーディスクを作ろう・・・・・・・・・・40ページ
- データを完全消去する・・・・・・・・・・43ページ

## ふろく・・・・・・・・・・50ページ



- その他の機能について・・・・・・・・・・50ページ
- DiskRefresher 3 の削除 (Windows のみ)・・・・・・・・・・61ページ
- 困ったときには・・・・・・・・・・62ページ
- お問い合わせ・・・・・・・・・・64ページ

# 安全のために



お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。


## 警告および注意事項

 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。


## 絵記号の意味

	禁止
	指示を守る


## 警告

-  本ソフトウェアを使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

## 注意

-  本ソフトウェアは以下のような場所で保管・使用しないでください。破損の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気が多い場所（台所、浴室など）
- 傾いた場所
- 静電気の影響の強い場所
- 腐食性ガス雰囲気中（C I 2、H 2 S、NH 3、S O 2、NO Xなど）

-  以下の注意をしてください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 上に重いものを乗せない
- 本ソフトウェアの上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 本ソフトウェアのそばで飲食・喫煙などをしない

## バックアップしてください

本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、保存された重要なデータについては、必ず「バックアップ」してください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。

### ●バックアップとは

データを守るために、別の記憶媒体（HDD、BD/DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

# はじめに

DiskRefresher 3 とは？	次ページ
箱の中には	7ページ
動作環境	8ページ
使用上のご注意	9ページ
使い方いろいろ	10ページ

## DiskRefresher 3 とは？

本ソフトウェアは、ハードディスクおよびリムーバブルメディア内のデータを完全に消去し、復元できないようにします。

通常のフォーマットやファイル削除では、データを完全に消去することはできません。その為、パソコンやメディアの譲渡・廃棄・転用を行った場合に、第三者に情報が漏洩する可能性があり、問題となっています。しかし、本ソフトウェアを使用すれば、データは完全に消去されますので安心です。また、消去作業において、以下の機能がご利用いただけます。

### ●複数ドライブ同時消去機能（Windows のみ）

複数のドライブを同時に消去することが可能です。

### ●パーティション単位での消去機能

1パーティション毎に消去することが可能です。

※ 2TB を超える HDD、または GUID パーティションテーブル (GPT) の HDD を除く

### ●フォーマット機能（Windows のみ）

データ消去後も再利用が可能です。また、MO ディスク、DVD-RAM、SCSI ハードディスクでは物理フォーマットも可能です。

※ 2TB を超える HDD、または GUID パーティションテーブル (GPT) の HDD を除く

### ●セクタダンプ機能

乱数書き込み以外なら簡易的にデータの消去が確認できます。

### ●消去履歴保存機能

消去履歴を一括して確認できます。一度に大量消去を行う場合でも消去漏れがなく、効率良く作業ができます。

### ●消去後ベリファイ機能

確実な消去を自動的に確認でき、安心です。

### ●ディスクイメージ保存機能（Windows のみ）

メディア内のデータを別のドライブにイメージ保存し、どんどん再利用できます。また、保存したデータが必要になった場合、いつでも元のメディアに復元できます。

## 箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

DiskRefresher3 (1 枚) [CD-ROM]

DiskRefresher3 取扱説明書 (1 冊) [本書]

Ver シール (1 枚) ※ トールパッケージの場合、ケースに添付

#### 注意

本ソフトウェアの CD-ROM は大切に保管してください  
本ソフトウェアの CD-ROM を紛失した場合の対応はいたしかねます。  
あらかじめご了承ください。

#### 参考

- 箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
- イラストは実物と若干異なる場合があります。

#### 参考

ユーザー登録について

▼本ソフトウェアに添付されているシリアル番号 (S/N) を下の枠にメモしてください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シリアル番号 (S/N) は以下の際に必要な場合があります。

最新版のダウンロード ⇒ <http://www.iodata.jp/lib/>

ユーザー登録 ⇒ <http://www.iodata.jp/regist/>

## 動作環境

本ソフトウェアは以下のパソコン環境でご使用いただけます。

### ● 対応機種 ●

DOS/V マシン (OADG 加盟メーカー)

※ 本ソフトウェアのインストール / 消去用フロッピーディスク作成時に CD-ROM ドライブが必要です。

### ● 対応 OS ※ 1 ●

Windows 8.1(32・64bit) / Windows 8(32・64bit) / Windows 7(32・64bit) /  
Windows Vista (32bit) / Windows XP (32bit) / Windows 2000 Professional /  
Windows Me ※ 2 / Windows 98 ※ 2 (98 SE ※ 2 含む)

※ 1 消去用フロッピーディスクによる消去のみの場合でも、消去用フロッピーディスク作成時に対応 OS 環境が必要となります。

※ 2 USB 接続のフロッピーディスクドライブでは消去用フロッピーディスクは作成できません。

### ● 起動方法別対応インターフェイス / ドライブ ●

本ソフトウェアの 起動方法	インストールして起動※ 1	CD-ROM や FD から起動※ 2
対応インターフェイス	ATA ※ 5 / SCSI / USB / IEEE 1394 / SATA ※ 5	ATA / SATA
対応ドライブ※ 3、※ 4	ハードディスク / USB 接続の FD / MO / DVD-RAM / ZIP / スーパーディスク / PD / USB メモリー / USB 接続のメモリ カードリーダー・ライター	ハードディスク

※ 1 Windows がインストールされているドライブは消去できません。

※ 2 パソコン本体が CD-ROM やフロッピーディスクからの起動に対応している必要があります。

※ 3 RAID モードではご使用いただけません。

※ 4 USB 接続のフロッピーディスクドライブ (弊社製 USB-FDX シリーズ等) および、USB メモリー (弊社製 EasyDisk 等)、USB 接続のメモリカードリーダー・ライター (弊社製 USB2-W12RWK シリーズ、USB2-W33RW シリーズ等) は、OS 標準ドライブ以外の専用ドライブでは正常に動作しない場合があります。また一部の USB 接続のドライブで、データ消去できない場合があります。

※ 5 Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 のみ対応

## 使用上のご注意

### ● 消去したデータは元に戻せません

本ソフトウェアは、指定されたハードディスクおよびリムーバブルメディア上のデータを全て消去します。

消去されたデータは、どのような復元方法を用いても復元できません。消去作業を実行する前に、必要なデータが残っていないか必ずご確認ください。必要なデータ、必要となる可能性のあるデータについては、他のハードディスクやリムーバブルメディアなどへバックアップの上、消去作業を実行してください。

また、複数台のストレージ機器を接続している場合は、作業を実行しないストレージ機器をパソコンから取り外して作業を行ってください。

### ● 本ソフトウェアを使用中は省電力モードにしないでください

本ソフトウェアを使用中は、スタンバイ / 休止 / スリープなどの省電力モードにしないでください。

### ● Windows 上でストレージ機器の取り付け / 取り外しを行わないでください

本ソフトウェアを Windows 上で使用中、ストレージ機器 (USB、IEEE 1394 接続のものも含めすべて) の取り付け / 取り外しを行うと本ソフトウェアの情報が正常ではなくなる場合があります。下記を守ってお使いください。

- ・本ソフトウェアを起動前に、ストレージ機器の取り付け / 取り外しを行った場合は、Windows を再起動すること
- ・本ソフトウェアを起動中に、ストレージ機器の取り付け / 取り外しを行わないこと

### ● パソコン本体の BIOS にウイルスチェック機能がある場合は、この機能を OFF (DISABLE) にしてください

パソコン本体の BIOS にウイルスチェック機能がある場合でこの機能が有効になっていると、本ソフトウェアが正常に動作できません。本ソフトウェアをご使用になる場合はこの機能を OFF (DISABLE) にし、ご使用後に ON (ENABLE) に戻してください。

(ウイルスチェック機能に関する詳細については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。)

## 使い方いろいろ

### 使い方いろいろ

本ソフトウェアでは以下のような事が行えます。  
目的にあった方法を選択し、該当するページをご覧ください。

目的	本ソフトウェアの起動方法	ページ
データを完全消去する	インストールして起動する	P. 1 2
	CD-ROM や FD から起動する ※ハードディスクのみ	P. 3 9
フォーマットする	インストールして起動する	P. 2 2
物理フォーマットする ※ MO、DVD-RAM、SCSI ハードディスクのみ		
データを復元する ※リムーバブルメディアのみ		

### 対応データ消去方式

本ソフトウェアで可能な完全データ消去方式の一覧です。

消去方式	消去回数	処理内容
ゼロで上書き (Overwrite with ZERO)	1 ~ 100 (任意)	ゼロクリア (任意の回数※を実行)
乱数で上書き (Overwrite with RANDOM DATA)	1 ~ 100 (任意)	乱数書き込み (任意の回数※を実行)
米国国家安全保障局方式 (NSA)	3	乱数書き込み→乱数書き込み →ゼロクリア
米国陸軍方式 (AR380-19)	3	乱数書き込み→固定値書き込み →固定値書き込み
米国海軍方式 (NAVSOP-5239-26)	3	固定値書き込み→固定値書き込み →乱数書き込み→検証
米国国防総省方式 (DoD5220.22-M)		
米国コンピュータ セキュリティセンタ方式 (NCSC-TG-025)		

※ 消去作業を行う回数を指定します。(16ページ手順8、46ページ手順9参照)

# インストールして使う

インストールしよう.....次ページ

データを完全消去する.....14ページ

使い方いろいろ.....22ページ

ハードディスクをフォーマットする.....23ページ  
リムーバブルメディアをフォーマットする.....29ページ  
物理フォーマットする  
(MO、DVD-RAM、SCSIハードディスクのみ).....33ページ  
データを復元する(リムーバブルメディアのみ).....35ページ

# インストールしよう

本ソフトウェアをインストールします。

参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください。

- 1** 「DiskRefresher3」 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。  
⇒自動的に CD メニューが表示されます。

参考

自動的に CD メニューが表示されない場合は  
「DiskRefresher3」 CD-ROM の中にある [AUTORUN] アイコンをダブルクリックしてください。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



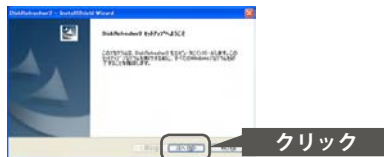
- 2** [インストール] をクリックします。



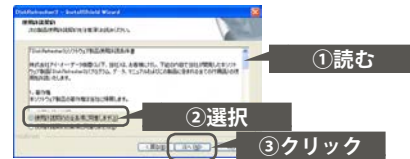
参考

「画面で見るマニュアル」をクリックすると、PDF 形式の本書が表示されます。  
※「画面で見るマニュアル」を見るには Acrobat Reader が必要です。インストールされていない場合はインストールしてください。

- 3** [次へ] ボタンをクリックします。



- 4** 同意する場合は、[はい] ボタンをクリックします。



参考

手順 4 は、使用許諾契約です。本ソフトウェアをインストールするには同意が必要です。

- 5** [次へ] ボタンをクリックします。



参考

インストール先のフォルダを替えたい場合  
[参照] ボタンをクリックして変更してください。通常、変更する必要はありません。

- 6** [インストール] ボタンをクリックします。  
⇒本ソフトウェアのインストールが開始されます。



- 7** [完了] ボタンをクリックします。



以上で、本ソフトウェアはインストールされました。



## データを完全消去する

ドライブのデータを完全に消去する手順を説明します。

参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください。

注意

- 他のソフトは全て終了してください  
本ソフトウェア以外で、メディアを読み書きするようなソフトが起動していると、本ソフトウェアが正常に動作しない場合があります。
- 消去の際はご注意ください  
情報は完全に消去され復元できません。あらかじめ、ご了承ください。
- 消去するメディア以外は取り外してください  
誤操作による意図しないデータの消去を防ぐため、消去したくないハードディスク、MO ディスク、フロッピーディスクなどは、作業前にパソコンから取り外してください。

1 パソコンの電源を切ります。

2 消去するドライブ以外のドライブおよびメディアを取り外します。  
誤操作による意図しないデータの消去を防ぐため、消去しないハードディスク、MO ディスク、フロッピーディスク等はすべてパソコンから取り外してください。

3 パソコンの電源を入れます。

注意

パソコンの電源を入れた状態で、USB 接続の機器等の取り付け / 取り外し (Hot Plug) を行わないでください。

4 [DiskRefresher3] を起動します。  
[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



5 データ消去したいドライブをダブルクリックします。  
⇒ [ディスクのデータ消去] ボタンやハードディスクのパーティション構成などが表示されます。



参考

ドライブが見つからない場合は・・・  
【困ったときには】「消去したいハードディスク / メディアが見つからない」(5 / 1 ページ) をご覧ください。

6 [ディスクのデータ消去] ボタンをクリックします。



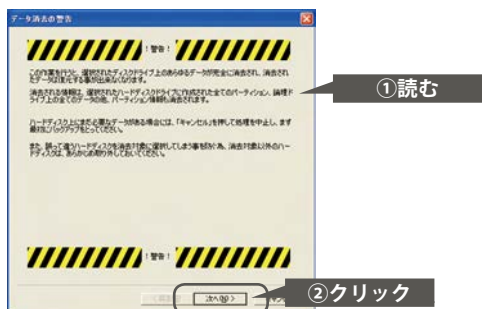
クリック

パーティションを分けている場合、パーティション毎に消去が行えます。  
※ 2TB を超える HDD、または GUID パーティションテーブル (GPT) の HDD を除く  
消去したいパーティション上を右クリックすると表示されるメニューより、  
[パーティションのデータ消去] をクリックします。  
※ 未使用領域も消去可能です。

参考

メディアがライトプロテクトされている場合・・・  
リムーバブルメディアの場合、ライトプロテクトされていると消去は行えません。

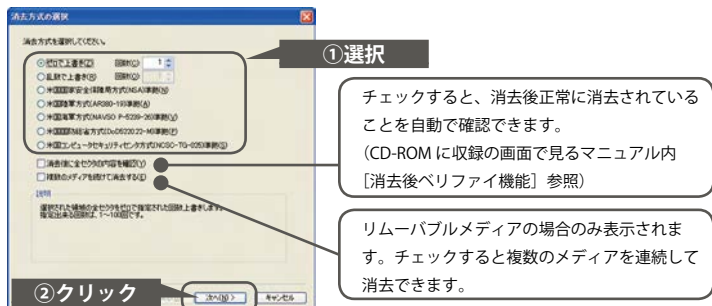
7 警告内容をご覧になり、[次へ] ボタンをクリックします。



8 消去方式を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

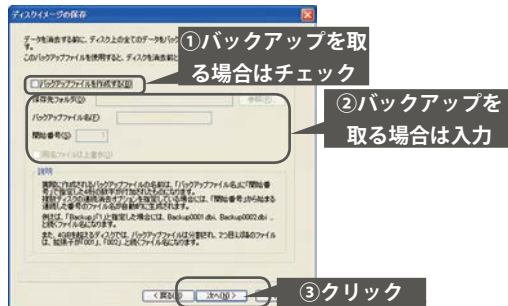
参考

消去方式の内容については【対応データ消去方式】(10 ページ)をご覧ください。



9 リムーバブルメディアの場合のみ、消去する前に他のメディアにバックアップを取るかどうかを選択します。

- ①バックアップをとる場合は「バックアップファイルを作成する」をチェックします。
- ②バックアップをとる場合は「保存先フォルダ」を指定し、「バックアップファイル名」等を入力します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックします。



設定するとバックアップを行ってから、消去作業に入ります。	
保存先フォルダ	バックアップファイルの保存先のフォルダを指定します。
バックアップファイル名	バックアップファイル名を入力します。 実際のバックアップファイル名は「開始番号」で指定した4桁の数字が付加されたものになります。 また、前ページ手順8で「複数のメディアを続けて消去する」を設定している場合には、「開始番号」から始まる連続した番号のファイル名が自動的に生成されます。 例)「Backup」「1」と指定した場合には、Backup0001.dbi、Backup0002.dbi、・・・と続くファイル名になります。 また、4GBを超えるディスクでは、バックアップファイルは分割され、2つ目以降のファイルは、拡張子が「001」、「002」、・・・と続くファイル名になります。
開始番号	バックアップファイル名に付加する4桁の数字を設定します。 例)「Backup」「1」と指定した場合には、Backup0001.dbiとなります。
同名ファイルは上書き	設定すると、バックアップファイルの保存先フォルダに同じファイル名があった場合は上書きされます。

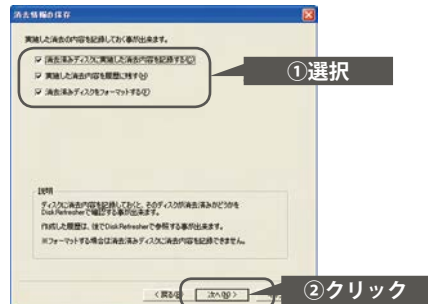
はじめに

インストールして使う

CD-ROMやフロッピーディスクか  
起動して使う(ハードディスクのみ)

ふろく

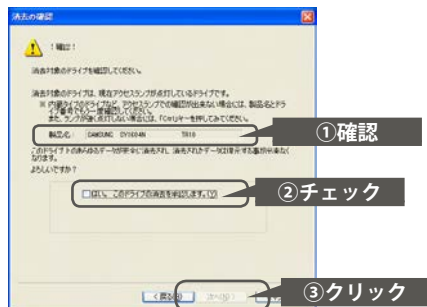
### 10 実施した消去内容を記録するかどうか、また消去内容を履歴に残すかどうかを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



消去済みディスクに実施した消去内容を記録する	消去内容が消去したディスクに記録されます。消去済みディスクのセクタダンプを開くと、内容を確認することができます。 (CD-ROM に収録の画面で見るマニュアル内 [セクタダンプ機能] 参照)
実施した消去内容を履歴に残す	消去内容が [消去の履歴] に記録されます。 (CD-ROM に収録の画面で見るマニュアル内 [消去履歴保存機能] 参照)
消去済みディスクをフォーマットする	データの消去を行った後に、消去済みディスクをフォーマットします。フォーマットを行うと、消去済みディスクに消去内容を記録することはできません。(上記「消去済みディスクに実施した消去内容を記録する」の設定が無効になります。)

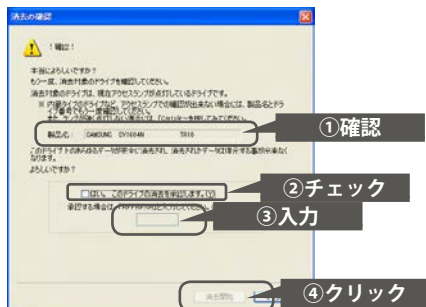
### 11 消去対象を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

- ① アクセスランプや製品名などから、消去対象のドライブを確認します。  
(ドライブによってはアクセスランプが点灯しない場合があります。)
- ② [はい、このドライブの消去を承認します。] をチェックします。
- ③ [次へ] ボタンをクリックします。



## 12 もう一度確認し、「消去開始」ボタンをクリックします。

- ① アクセスランプや製品名などから、消去対象のドライブを再度確認します。  
(ドライブによってはアクセスランプが点灯しない場合があります。)
- ② [はい、このドライブの消去を承認します。] をチェックします。
- ③ 「REFRESH」と入力します。  
※「REFRESH」は半角・大文字で入力してください。
- ④ [消去開始] ボタンをクリックします。⇒データの完全消去が開始されます。



### 注意

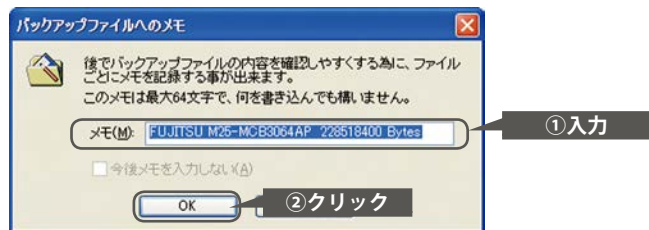
消去中のドライブに読み書きしないでください。  
Windows が正常に動作しなかったり、正常に消去できないおそれがあります。

## 13 リムーバブルメディアで、他のメディアにバックアップをとる場合はメモ

を記録します。⇒バックアップをとってから、データの完全消去が開始されます。

- ※ メモを付けると、後でバックアップファイルの確認がしやすくなります。  
(36ページ [データを復元する] 手順4 参照)

- ① [メモ] を入力します。
- ② [OK] ボタンをクリックします。



## 14 消去中は、以下のように表示されます。

途中で中止したい場合は [消去を中止する] ボタンをクリックします。



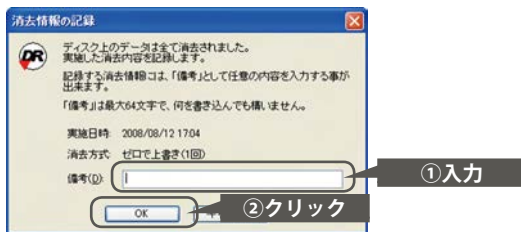
- ※ リムーバブルメディアにおいて16ページ手順8で [複数のメディアを続けて消去する] をチェックしている場合は、画面の指示に従って作業をすすめてください。

### 参考

消去中でも他のメディアにアクセスする作業は問題なく行えます。

## 15 消去完了後は、以下のように表示されます。

- ① 任意で [備考] を入力します。(最大 64 文字まで)  
※ [備考] を入力すると、後で消去履歴の確認がしやすくなります。  
(CD-ROM に収録の画面で見るマニュアル内 [セクタダンプ機能]、[消去履歴保存機能] 参照)
- ② [OK] ボタンをクリックします。



## 16 [DiskRefresher の終了] をクリックします。

[ファイル] メニューをクリックし、表示された [DiskRefresher の終了] をクリックします。または「DiskRefresher」の右上にある [X] をクリックします。

以上で、データは完全消去されました。

# 使いいろいろ

ハードディスクをフォーマットする・・・・・・・・次ページ  
 リムーバブルメディアをフォーマットする・・・・29ページ  
 物理フォーマットする  
 (MO、DVD-RAM、SCSIハードディスクのみ)・・・・33ページ  
 データを復元する(リムーバブルメディアのみ)・・35ページ

## ハードディスクをフォーマットする

ハードディスクをフォーマットする場合の手順を説明します。

※ 2TB を超える HDD、または GUID パーティションテーブル (GPT) の HDD を除く

参考

ここでは、未フォーマットのハードディスクを 1 つのパーティション (拡張パーティション内の論理ドライブ) でフォーマットする方法を説明します。

参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください

### 1 [DiskRefresher3] を起動します。

[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



### 2 フォーマットしたいハードディスクをダブルクリックします。

⇒ [ディスクのデータ消去] ボタンやハードディスクのパーティション構成などが表示されます。

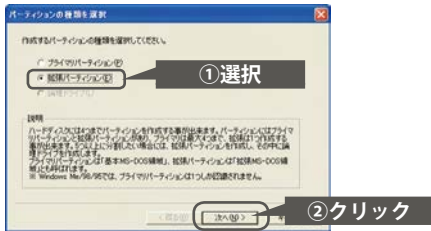


### 3 [パーティションの作成] をクリックします。

- ① [未使用] になっている領域を右クリックします。
- ② [パーティションの作成] をクリックします。



### 4 [拡張パーティション] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



### 5 [次へ] ボタンをクリックします。



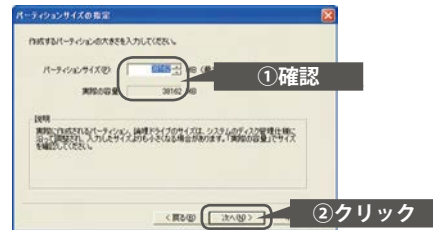
参考

パーティションサイズについて

ここでは、ハードディスクを1つのパーティション (拡張パーティション内の論理ドライブ) でフォーマットする方法を説明しています。

パーティションサイズを最初の表示より小さく設定すると、複数のパーティションを作成できます。

### 6 設定を確認し、[完了] ボタンをクリックします。⇒拡張パーティションを作成します。

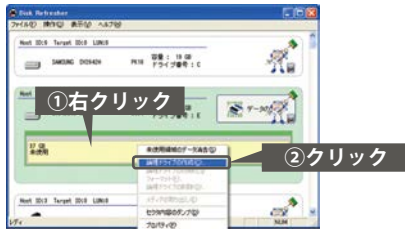


### 7 [OK] ボタンをクリックします。

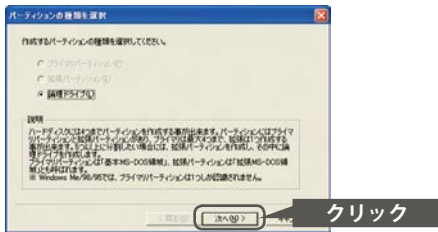


### 8 [論理ドライブの作成] をクリックします。

- ① [未使用] になっている領域を右クリックします。
- ② [論理ドライブの作成] をクリックします。



### 9 [次へ] ボタンをクリックします。



### 10 [次へ] ボタンをクリックします。

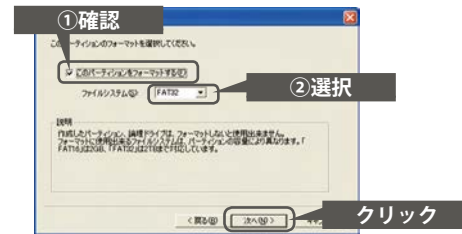


参考

パーティションサイズについて  
 ここでは、ハードディスクを1つのパーティション(拡張パーティション内の論理ドライブ)でフォーマットする方法を説明しています。  
 パーティションサイズを最初の表示より小さく設定すると、複数の論理ドライブを作成できます。

### 11 フォーマットの選択をし、[次へ] ボタンをクリックします。

- ① [このパーティションをフォーマットする] にチェックがついていることを確認します。
- ② [ファイルシステム] を選択します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックします。



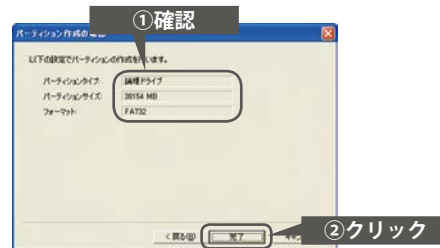
参考


ファイルシステムについて

ファイルシステム	1パーティションあたりの最大容量
FAT32	2T バイト
FAT16	2,047M バイト
FAT12	※ Windows Vista/XP/2000 では約 4G バイト 32M バイト

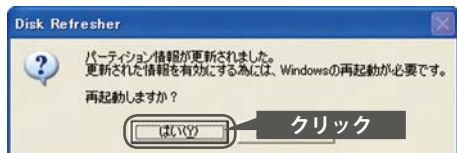
### 12 設定を確認し、[完了] ボタンをクリックします。

⇒論理ドライブを作成し、フォーマットを開始します。



**13** フォーマット完了後、[DiskRefresher の終了] をクリックします。  
 [ファイル] メニューをクリックし、表示された [DiskRefresher の終了] をクリックします。  
 または「DiskRefresher」の右上にある  をクリックします。

**14** [はい] ボタンをクリックします。⇒パソコンが再起動されます。



以上で、ハードディスクはフォーマットされました。

## リムーバブルメディアをフォーマットする

リムーバブルメディアをフォーマットする場合の手順を説明します。

※ここでは MO ディスクをフォーマットする手順を例として説明しています。他のメディアでも同様の操作でフォーマットできます。

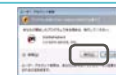
参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
 Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください。

**1** [DiskRefresher3] を起動します。  
 [スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
 [続行] ボタンをクリックしてください。



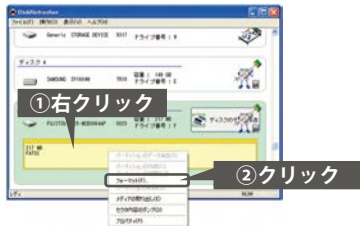
**2** メディアが挿入されているドライブをダブルクリックします。  
 ⇒ [ディスクのデータ消去] ボタンやメディアの容量などが表示されます。





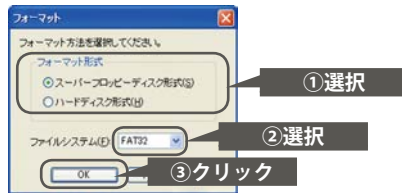
### 3 [フォーマット] をクリックします。

- ① フォーマット情報などが表示されている領域を右クリックします。
- ② [フォーマット] をクリックします。



### 4 フォーマットの選択をし、[OK] ボタンをクリックします。

- ① フォーマット形式を選択します。
- ② ファイルシステムを選択します。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。



参考

フォーマット形式について

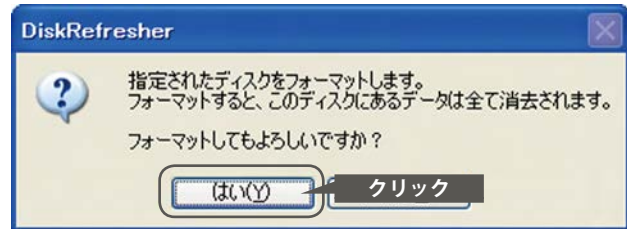
OS のバージョンによって「ハードディスク形式」しか認識できない場合がありますが、通常、「スーパーフロッピーディスク形式」でフォーマットします。

参考

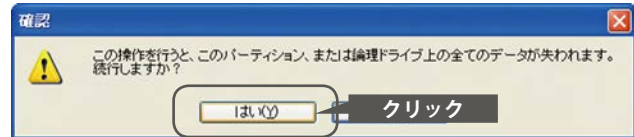
ファイルシステムについて

ファイルシステム	1 パーティションあたりの最大容量
FAT32	2T バイト
FAT16	2,047M バイト
	※ Windows Vista/XP/2000 では約 4G バイト
FAT12	32M バイト

### 5 フォーマットしてもよいか確認し、[はい] ボタンをクリックします。



### 6 [はい] ボタンをクリックします。



**7** フォーマットが終わるまで待ちます。  
終了すると必要に応じてメディアが取り出されます。



参考

「フォーマットが完了しました。一旦メディアを取り出す必要があります。」のメッセージが表示された場合は、[OK] ボタンをクリックし、メディアを取り出してください。USB メモリーなどの場合は本ソフトウェアを終了し、デバイスの取り外しをおこなってください。

**8** [DiskRefresherの終了] をクリックします。  
[ファイル] メニューをクリックし、表示された [DiskRefresherの終了] をクリックします。  
または「DiskRefresher」の右上にある をクリックします。

以上で、リムーバブルメディアはフォーマットされました。

物理フォーマットする (MO、DVD-RAM、SCSI ハードディスクのみ)

物理フォーマットする場合の手順を説明します。物理フォーマット機能は、MO、DVD-RAM、SCSI ハードディスクに対応しています。

※ ここでは MO ディスクを物理フォーマットする手順を例として説明しています。  
他のメディアでも同様の操作で物理フォーマットできます。

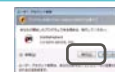
参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログインしてください。

**1** [DiskRefresher3] を起動します。  
[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

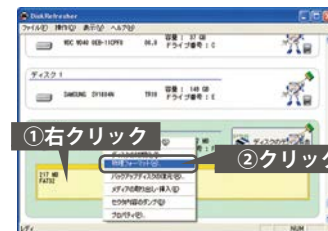
右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



**2** 物理フォーマットしたい (メディアが挿入されている) ドライブをダブルクリックします。



**3** ドライブ名などが表示されている領域を右クリックし、[物理フォーマット] をクリックします。



4 [はい] ボタンをクリックします。



注意

パソコンの電源を入れた状態で、USB 接続の機器等の取り付け / 取り外し (Hot Plug) を行わないでください。

5 物理フォーマットが終わるまで待ちます。



6 物理フォーマット後は以下のように表示されます。



7 [DiskRefresher の終了] をクリックします。

[ファイル] メニューをクリックし、表示された [DiskRefresher の終了] をクリックします。

または「DiskRefresher」の右上にある [X] をクリックします。

以上で、物理フォーマットされました。

データを復元する

リムーバブルメディアにおいて、データの完全消去の際にバックアップをとった場合は、データを復元することができます。(17ページ手順9で[バックアップファイルを作成する]をチェックするとバックアップファイルが作成され、データを復元することができますようになります。)

注意

元のメディアと同じタイプのメディアにしか復元できません。

参考

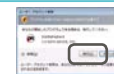
Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログインしてください。

1 [DiskRefresher3] を起動します。

[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



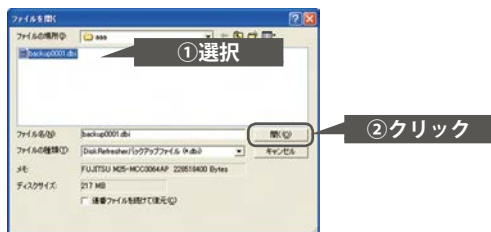
2 復元したいデータを書き込むためのメディアが挿入されているドライブをダブルクリックします。



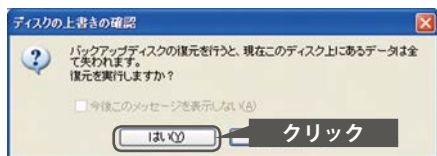
- 3 ドライブ名などが表示されている領域を右クリックし、[バックアップディスクの復元]をクリックします。



- 4 復元したいバックアップファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



- 5 [はい]ボタンをクリックします。



- 6 復元が終わるまで待ちます。  
途中で中止したい場合は[ディスクの復元を中止する]ボタンをクリックします。



- 7 復元後は、以下のように表示されます。



- 8 [DiskRefresherの終了]をクリックします。  
[ファイル]メニューをクリックし、表示された[DiskRefresherの終了]をクリックします。  
または「DiskRefresher」の右上にある[ ]をクリックします。

以上で、データは復元されました。

## CD-ROM やフロッピーディスクから 起動して使う (ハードディスクのみ)

消去用フロッピーディスクを作ろう・・・・・・・・次ページ

データを完全消去する・・・・・・・・43ページ

## 消去用フロッピーディスクを作ろう

フロッピーディスクから起動して本ソフトウェアを使いたい場合は、まず消去用フロッピーディスクを作成する必要があります。

注意

Windows Me/Windows 98(98SE 含む) で USB 接続フロッピーディスクをお使いの場合消去用フロッピーディスクを作成することはできません。

参考

CD-ROM で起動する場合はこの手順は必要ありません。  
【データを完全消去する】(43 ページ) にお進みください。

参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログインしてください。

1 Windows を起動します。

2 「DiskRefresher3」 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。  
⇒自動的に CD メニューが表示されます。

参考

自動的に CD メニューが表示されない場合は  
「DiskRefresher3」 CD-ROM 中にある [AUTORUN] アイコンをダブルクリックしてください。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



3 [消去用 FD 作成] をクリックし、消去するハードディスクのインターフェイスの仕様にあわせて [Ultra ATA 対応版] または [Serial ATA 対応版] を選択します。



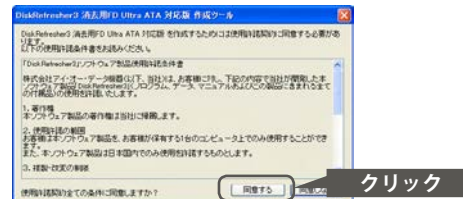
参考

異なるインターフェイスを選択した場合、ハードディスクが消去対象として認識されなかったり、処理が遅くなることがあります。

参考

CD-ROM で起動する場合は、UltraATA と Serial ATA の両方に対応しています。

4 同意する場合は、[同意する] ボタンをクリックします。



参考

手順 4 は、使用許諾契約です。  
消去用フロッピーディスクを作成するには同意が必要です。

5 2HD 1.44MB のフロッピーディスクを対象ドライブに入れます。

## 6 [対象ドライブ] を選択し、[開始] ボタンをクリックします。

⇒消去用フロッピーディスクの作成が開始されます。(作業には数分かかります。)

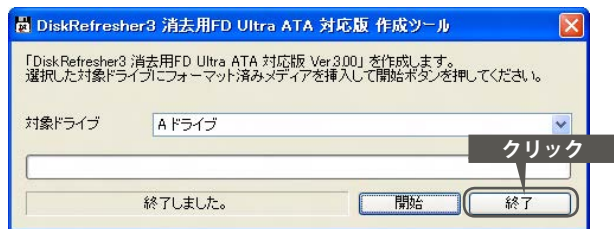
※ Windows Me/Windows 98(98SE 含む) で USB 接続フロッピーディスクドライブをお使いの場合、消去用フロッピーディスクは作成できません。



## 7 [OK] ボタンをクリックします。



## 8 [終了] ボタンをクリックします。



以上で、消去用フロッピーディスクが作成できました。

## データを完全消去する

CD-ROM やフロッピーディスクから本ソフトウェアを起動して、ハードディスクのデータを完全消去する方法を説明します。

注意

消去の際にはご注意ください。  
情報は完全に消去され復元できません。あらかじめ、ご了承ください。

参考

お使いのパソコンが CD-ROM やフロッピーディスクからの起動に対応している必要があります。お使いのパソコンが CD-ROM やフロッピーディスクからの起動に対応しているかどうかは、パソコンメーカーにお問い合わせください。

### 1 パソコンの電源を切ります。

### 2 消去するドライブ以外を取り外します。

誤操作による意図しないデータの消去を防ぐため、消去しないハードディスク、リムーバブルメディア等はすべてパソコンから取り外してください。

注意

パソコン本体の BIOS にウイルスチェック機能がある場合は、これを OFF (DISABLE) にしてください。パソコン本体の BIOS にウイルスチェック機能がある場合でこの機能が有効になっていると、本ソフトウェアが正常に動作できません。本ソフトウェアをご使用になる場合はこの機能を OFF (DISABLE) にし、ご使用後に ON (ENABLE) に戻してください。ウイルスチェック機能に関する詳細については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

### 3 消去用フロッピーディスクを挿入します。

CD-ROM から起動する場合は、いったんパソコンの電源を入れてから本ソフトウェアの CD-ROM を挿入し、再起動後、次ページ手順 5 へすすみます。

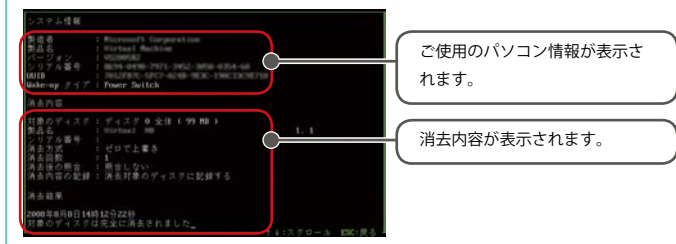
### 4 パソコンの電源を入れます。

5 [ディスクを操作する] を選択します。[↑][↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。



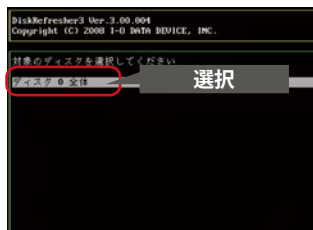
参考

[システム情報を見る]・・・DiskRefresher3 を起動したパソコンの情報を表示します。  
 ※ パソコン環境によっては正しい情報を表示できない場合があります。  
 [ファイルに記録された消去履歴を見る]・・・4 6 ページ 手順 1 1 で、消去内容を ファイルに記録した場合、  
 下のような消去履歴を確認することができます。  
 ※ 環境により表示されない項目がでる場合があります。

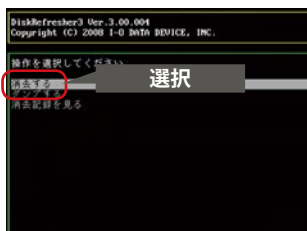


6 データ消去するドライブまたはパーティションを選択します。

[↑][↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。

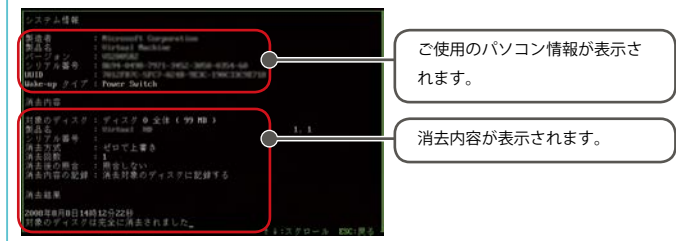


7 [消去する] を選択します。[↑][↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。

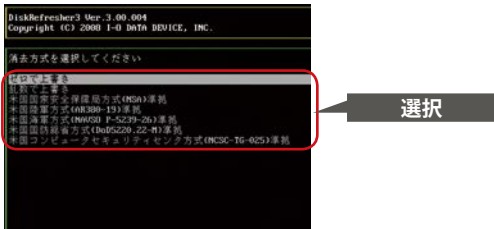


参考

[ダンプする]・・・ダンプ内容が表示されます。  
 [消去記録を見る]・・・4 6 ページ 手順 1 1 で、消去内容を ディスクに記録した場合、下のような消去履歴を確認することができます。  
 ※ 環境により表示されない項目がでる場合があります。



8 消去方式を選択します。[↑][↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。

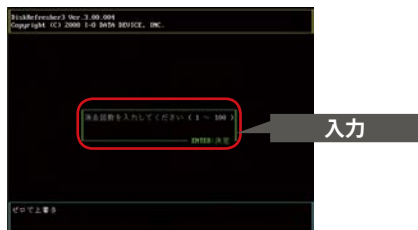


参考

消去方式については【対応データ消去方式】1 0 ページ) をご覧ください



- 9** この画面が表示された場合は、消去回数を入力します。  
消去回数を入力して、[Enter] キーを押します。



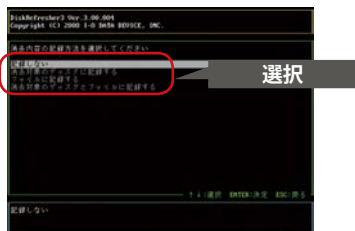
- 10** データ消去後の照合方法を選択します。  
設定すると、確実に消去されたかどうかを自動的に確認します。  
[↑] [↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。



- 11** 消去履歴保存方法を選択します。[↑] [↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。

注意

消去履歴を記録する場合、消去履歴保存方法を選択する前に、記録する FD もしくは USB メモリー (FAT ファイルシステムでフォーマット済み) をパソコンに装着してください。  
ただし、本ソフトウェアを起動したメディアには記録できません。



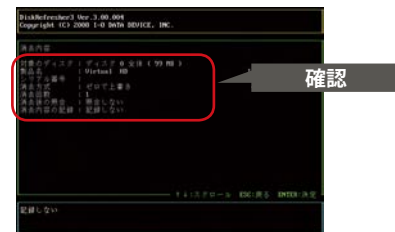
- 12** 手順 11 で消去内容を記録するを選択した場合のみ、記録する対象ディスクを選択します。[↑] [↓] キーで選び、[Enter] キーを押します。



参考

対象ディスクにより認識が遅い場合があります。認識されない場合は、[Esc] キーを押し、手順 11 の画面に戻り、数十秒後、もう一度消去履歴保存方法を選択し直してください。

- 13** 消去内容を確認し、[ENTER] キーを押します。



- 14** 「REFRESH」と入力し、[ENTER] キーを押します。⇒消去が開始されます。  
※「REFRESH」は半角・大文字で入力してください。



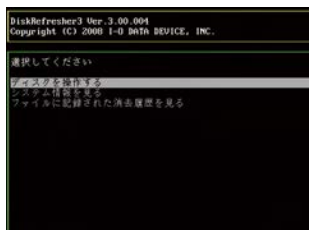
**15** この画面が表示されたら、何かキーを押してください。

この画面が表示されたら、消去作業は終了しています。

⇒ 4 4 ページ手順 5 の画面に戻ります。



**16** [Esc] キーを押します。



**17** [Y] キーを押します。



**18** 本ソフトウェアの CD-ROM や消去用フロッピーディスクを取り出します。

**19** パソコンの電源を切ります。

以上で、ハードディスク内のデータは完全消去されました。

# ふろく

## その他機能について..... 50 ページ

- セクタダンプ機能..... 51 ページ
- 消去履歴保存機能..... 52 ページ
- 消去後ペリファイ機能..... 53 ページ
- ディスクイメージ保存機能..... 54 ページ
- パーティションの作成機能..... 55 ページ
- パーティションの削除機能..... 59 ページ

## DiskRefresher3 の削除 (Windows のみ)..... 61 ページ

## 困ったときには..... 62 ページ

# その他機能について

本ソフトウェアのその他の便利な機能ついて説明します。

- セクタダンプ機能・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 1 ページ
- 消去履歴保存機能・・・・・・・・・・・・・・ 5 2 ページ
- 消去後ペリファイ機能・・・・・・・・・・・・ 5 3 ページ
- ディスクイメージ保存機能・・・・・・・・・・ 5 4 ページ
- パーティションの作成機能・・・・・・・・・・ 5 5 ページ
- パーティションの削除機能・・・・・・・・・・ 5 9 ページ

## セクタダンプ機能

乱数書き込み以外であれば、簡易的にデータの消去を確認することができます。

### ● インストールして使う場合 ●

参考 Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください

1 [DiskRefresher3] を起動します。  
[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

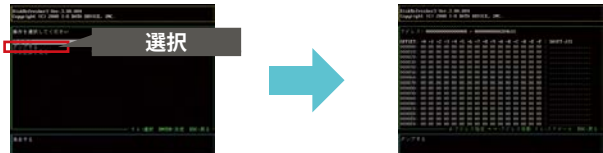
参考 右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。

### 2 確認したいディスクを右クリックして [セクタ内容のダンプ] をクリックします。⇒ダンプ内容が表示されます。



### ● CD-ROM や消去用フロッピーディスク起動の場合 ●

消去の際 [操作を選択してください] の画面で [ダンプする] を選択すると、ダンプ内容が表示されます。



### 消去履歴保存機能

消去履歴を一括して確認することができます。

注意

消去履歴の確認は、消去の際に履歴を残す設定にした場合のみ確認ができます。  
(設定については16ページ手順10、または添付の冊子参照)

#### ● インストールして使う場合 ●

参考

Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください

- 1 [DiskRefresher3] を起動します。  
[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



- 2 [ファイル] をクリックして [消去履歴の表示] をクリックします。



Date	消去日時
Method	消去方式
Disk	ドライブ名 (ファームウェアレビジョン、容量、ディスク固有の番号)
Info	19ページ手順15で [備考] に入力した情報が表示されます。

#### ● CD-ROM や消去用フロッピーディスク起動の場合 ●

ファイルに履歴を記録した場合は、CD-ROM または FD から起動後「ファイルに記録された消去履歴を見る」を選択します。また、Windows 上でメモ帳等からディスク内の [dref.log] ファイルを開き、確認 / 印刷することもできます。 ディスクに履歴を記録した場合は、消去の際「操作を選択してください」の画面で「消去記録を見る」を選択します。

### 消去後ベリファイ機能

確実にデータが消去されたか、自動的に確認することができます。

#### ● インストールして使う場合 ●

消去の際、14ページ手順8で [消去後に全セクタの内容を確認] にチェックつけ、消去を開始します。  
消去後、自動的に照合 (ベリファイ) がおこなわれます。  
(下の画面のように「消去確認中」と表示されます。)



#### ● CD-ROM や消去用フロッピーディスク起動の場合 ●

消去の際、「消去後の照合方法を選択してください」の画面で、「照合する (高速)」または「照合する (完全)」を選択し、消去します。消去後、自動的に照合 (ベリファイ) がおこなわれます。

### ディスクイメージ保存機能

リムーバブルメディアのデータの完全消去の際、データを他のメディアにバックアップすることができます。

注意

- ・CD-ROM や消去用フロッピーディスクから起動して消去する場合は、この機能は使えません。
- ・ハードディスクではこの機能は使えません。

### ● インストールして使う場合 ●

消去の際 1 5 ページ手順 9 で [バックアップファイルを作成する] をチェックするとバックアップを行ってから消去作業に入ります。

消去後、データを復元したい場合には 3 3 ページ【データを復元する】をご覧ください。

### ● CD-ROM や消去用フロッピーディスク起動の場合 ●

この機能は利用できません。

### パーティションの作成機能

パーティションの作成をおこなうことができます。

※ 2TB を超える HDD、または GUID パーティションテーブル (GPT) の HDD を除く

注意

CD-ROM や消去用フロッピーディスクから起動して消去する場合は、この機能は使えません。

参考

パーティションについて

1 つのドライブにプライマリパーティションの場合は最大 4 つまで、拡張パーティションの場合は 1 つまで作成できます。(ただし、拡張パーティションを作成した場合は、プライマリパーティションは 3 つまでしか作成できません。)

また、拡張パーティション内には論理ドライブを複数作成することができます。

参考

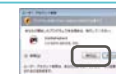
Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください

### 1 [DiskRefresher3] を起動します。

[スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。

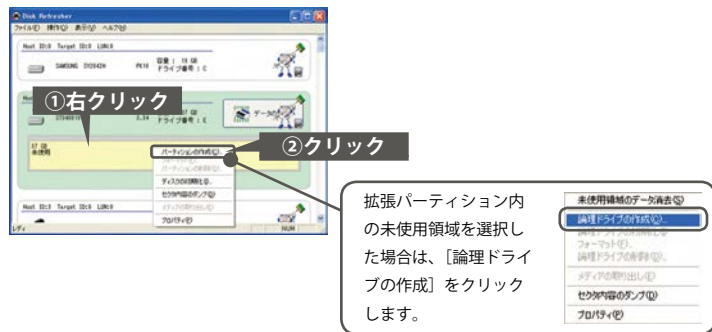


### 2 パーティションを作成したいドライブをダブルクリックします。 ⇒ [ディスクのデータ消去] ボタンやハードディスクのパーティション構成などが表示されます。

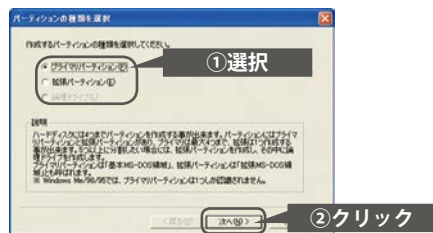


### 3 [パーティションの作成] をクリックします。

- ① パーティションを作成したい領域を右クリックします。
- ② [パーティションの作成] をクリックします。



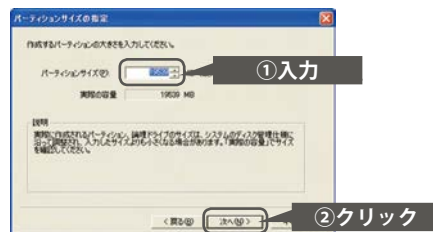
### 4 パーティションの種類を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



参考

Windows Me/98/95 の場合  
プライマリパーティションは1つしか認識されません。

### 5 作成するパーティションのサイズを指定し、[次へ] ボタンをクリックします。



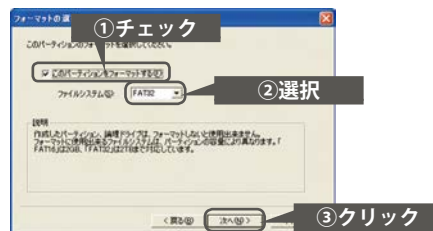
参考

パーティションサイズについて  
パーティションサイズを最初の表示より小さく設定すると、複数のパーティションを作成できます。

### 6 フォーマットの選択をし、[次へ] ボタンをクリックします。

- ※前ページ手順4で「拡張パーティション」を選択した場合は、本ウィンドウは表示されません。
- ※フォーマットを行わない場合はチェックを外して、[次へ] をクリックしてください。

- ① [このパーティションをフォーマットする] にチェックがついていることを確認します。
- ② [ファイルシステム] を選択します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックします。

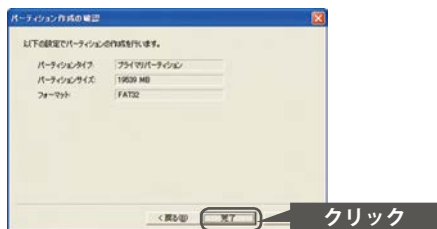


参考

ファイルシステムについて

ファイルシステム	1パーティションあたりの最大容量
FAT32	2T バイト
FAT16	2,047M バイト
	※ Windows Vista/XP/2000 では約 4G バイト
FAT12	32M バイト

- 7** 設定を確認し、[完了] ボタンをクリックします。  
 ⇒パーティション作成およびフォーマット後、再起動するようメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。



以上で、パーティションは作成されました。

## パーティションの削除機能

パーティションの削除をおこなうことができます。  
 ※ 2TB を超える HDD、または GUID パーティションテーブル (GPT) の HDD を除く

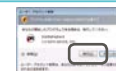
**参考** パーティションの削除を行っても、パーティション内のデータは完全消去されません。パーティション内のデータを完全消去する場合、インストールして使う場合は 14 ページ【データを完全消去する】、CD-ROM または FD から起動して使う場合は添付の冊子をご覧ください。

### ● インストールして使う場合 ●

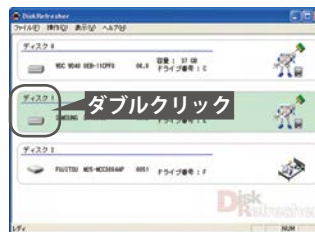
**参考** Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000 の場合  
 Windows をコンピュータの管理者 (Administrator) 権限でログオンしてください

- 1** [DiskRefresher3] を起動します。  
 [スタート] → [すべてのプログラム] ([プログラム]) → [I-O DATA] → [DiskRefresher3] → [DiskRefresher3] の順にクリックします。

**参考** 右のような画面が表示された場合は、  
 [続行] ボタンをクリックしてください。



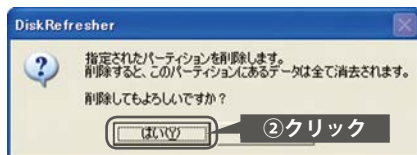
- 2** 削除したいパーティションがあるドライブをダブルクリックします。  
 ⇒ [ディスクのデータ消去] ボタンやハードディスクのパーティション構成などが表示されます。



- 3 削除したいパーティション上を右クリックし、[パーティションの削除] をクリックします。



- 4 [はい] をクリックします。



以上で、パーティションは削除されました。

● CD-ROM や消去用フロッピーディスク起動の場合 ●

消去の際、「対象のディスクを選択してください」の画面で削除したいパーティションを選択すると、パーティション毎で削除が行えます。

## DiskRefresher 3 の削除 (Windows のみ)

本ソフトウェアの削除方法について説明します。

- 1 [コントロールパネル] を開きます。  
(例) [スタート] → ([設定] → [コントロールパネル] の順にクリック
- 2
  - ・ Windows 8/7/Vista の場合  
[プログラムのアンインストール] をクリックします。
  - ・ Windows XP の場合  
[プログラムの追加と削除] をクリックします。
  - ・ Windows 2000/Me/98 の場合  
[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- 3
  - ・ Windows 8/7/Vista の場合  
[DiskRefresher3] をクリックし、[アンインストールと変更] をクリックします。
  - ・ Windows XP/2000 の場合  
[DiskRefresher3] をクリックし、[削除](または[変更 / 削除]) ボタンをクリックします。
  - ・ Windows Me/98 の場合  
[DiskRefresher3] をダブルクリックします。

参考

右のような画面が表示された場合は、  
[続行] ボタンをクリックしてください。



- 4 [OK] ボタンをクリックします。

- 5 [完了] ボタンをクリックします。

以上で、本ソフトウェアは削除されました。



## 困ったときには

本ソフトウェアを使用していてトラブルがあったときにご覧ください。

### Q. 消去したいハードディスク / メディアが見つからない

原因 1	インターフェイスが未対応
対処	対象ドライブのインターフェイスが、本ソフトウェアに対応しているか確認してください。(8ページ【動作環境】参照)
原因 2	本ソフトウェア使用中に USB 接続機器の取り付け / 取り外し (Hot Plug) をした
対処	本ソフトウェアをご使用時、パソコンの電源を入れた状態で USB 接続機器の取り付け / 取り外し (Hot Plug) を行わないでください。 一旦、本ソフトウェアを終了してから機器の取り付け / 取り外し (Hot Plug) を行ってください。

### Q. 消去に失敗する

原因 1	ウイルスチェック機能が ON (ENABLE) になっている
対処	パソコン本体の BIOS にウイルスチェック機能がある場合で、この機能が有効になっていると、本ソフトウェアが正常に動作できません。本ソフトウェアをご使用になる場合はこの機能を OFF (DISABLE) にし、ご使用後に ON (ENABLE) に戻してください。ウイルスチェック機能に関する詳細については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

参考

パソコン本体 BIOS のウイルスチェック機能の有無については、実際に BIOS を起動してご確認ください。以下は、BIOS 内での表示例です。ご使用のパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書にてご確認ください。

表示例) 「Boot Virus Detection」 「Virus Warning」

※上記の表示がある場合は、OFF (DISABLE) にしてください。

原因 2	ハードディスク / メディアに不良セクタがある
対処	不良セクタがある場合、消去中にエラーが発生して終了する場合があります。物理フォーマットできる場合は、物理フォーマットをすることで正常に消去できるようになる場合があります。

### Q. 消去やフォーマットが中断されてしまう、または動作が不安定 (エラーメッセージが表示される場合もある)

原因 1	パケットライトソフトやセキュリティソフト等、ディスクアクセスを制御するようなアプリケーションを使用している
対処	パケットライトソフトやセキュリティソフト等、ディスクアクセスを制御するようなアプリケーションを使用している場合は、それらのソフトウェアを無効にしてからご使用ください。
原因 2	ハードディスク / メディアに異常がある
対処	正常に動作していないハードディスク / メディアは使用できません。

### Q. CD-ROM や FD からの起動に失敗する

原因 1	お使いのパソコンが CD-ROM や FD からの起動に対応していない
対処	パソコン側の設定で起動できる場合があります。詳しくはパソコンメーカーにお問い合わせください。
原因 2	消去用 FD が壊れている
対処	新しい FD で消去用 FD を作成しなおしてください。また、前ページ「消去に失敗する」の【対処】もお試ください。

## お問い合わせ

本ソフトウェアに関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

### 1 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

- 製品 Q&A、News など  
⇒ <http://www.iodata.jp/support/>

本ソフトウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

- 最新ソフトウェア  
⇒ <http://www.iodata.jp/lib/>

### 2 それでも解決できない場合は・・・

事前に以下の事項をご用意いただき、サポートセンターへお問い合わせください。

- ① ご使用の製品名
- ② ご使用のパソコン本体の型番
- ③ ご使用の OS と本ソフトウェアのバージョン
- ④ トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。

また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

DiskRefresher3 取扱説明書

2014.7.25

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒 920-8512 石川県金沢市桜田町 3 丁目 1 0 番地

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

ホームページ <http://www.iodata.jp/>